

科目区分	専門分野			科目番号	0804	曜日時間	不定期
授業科目	老年看護学援助論Ⅲ						
単位数	1 単位	時間	1 6 時間	開講時期	2年次前期	授業形態	講義・演習
担当教員	横手 理香						
授業目的	高齢者を全人的にとらえ、根拠に基づき判断し、生活の再構築を支援するプロセスを学ぶ。						
中核	高齢者の生活行動再構築						
授業目標	1. 健康問題をもつ高齢者に必要な援助を検討し、看護過程の展開の思考を習得する。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	8	第1回：目標思考型思考を用いた看護過程の展開	講義・GW	16	横手 理香	実習室	
		第2回：情報の分類（主観的情報・客観的情報）	講義・GW				
		第3回：アセスメント・統合	講義・GW				
		第4回：全体像の記入	講義・GW				
		第5回：看護計画の立案	講義・GW				
		第6回・第7回：事例への援助実施	演習（必修）				
		第8回：看護過程・看護計画の追加修正	講義・GW				
課題等		1. 全講義での実際の経験を通して、毎時ノートにリフレクションしていくこと。 2. 毎講義時には、「老年に関するニュース」を必ずひとつ見つけ、ポートフォリオに入れること。					
評価計画方法	1. 筆記試験50%                      2. パフォーマンス課題50% *出席状況（原則全日）が不足している場合は最終評価の減点対象とする。						
テキスト 参考図書	北川公子ほか:系統看護学講座 専門分野 老年看護学【電子版】，医学書院 鳥羽研二ほか:系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾病論【電子版】，医学書院						
実務歴 有	看護師・保健師：地域包括支援等勤務 6年      看護教員：学校勤務 3年						
講義への 反映	地域包括支援センターにおける実務経験により、高齢者の現状をとらえ、エンドオブライフを見据えた看護の重要性を講義に反映させる。また地域の高齢者との交流を積極的に行い、現実に必要なとされていることを模索できる講義を展開する。						
備 考	用意するもの 1. 「老年看護援助学」リフレクションノート 2. ポートフォリオ用のファイル1冊 本科目では、学生が「疾患・病態生理」、「検査・治療」を理解しているという前提で講義を実施する。これまでの学習が不十分である場合は、当該講義までに復習を行うこと。						